



今月のくらし

遠い秩父の山並みを見はるかす稲田は収穫が終わり、一面の緑が嘘だったように広々としています。乾いた空は求めて多くの白鷺が遊び、青い空には赤とんぼが群れを為して飛び交い、暑い季節とは違う趣のある生命の競演に心が暖かくなる想いです。街角にはコスモスや鶏頭、菊など季節のお花が咲きそろいました。紅葉や熟柿の一つ一つが燦爛と降り、陽光にきらめいて一年中で最も自然が美しい季節を迎えました。天候も安定して戸外で遊ぶにはもってこいの好季節です。

先月には秋季運動会が行われ全園児が喜んで参加いたしました。幸いにも当日は最高の晴天に恵まれご家族をはじめ大勢のお客様をお迎えしてたくさんのお客様の大きな声援を頂くことが出来ました。走ったりダンスをしたり、和太鼓の演奏をしたりと、練習の成果が実って大喜びの子供たちでした。運動会は一人一人の子供たちに「やれば出来るようになる自信」また「友達と助け合って成し遂げる喜び」「クラスを担当や友達との連帯感」など目に見えない素晴らしい力を育ててくれました。

今月は大行事を終えて一回り大きくなった子供たちと季節を体感しながら戸外で思い切りのびのびと楽しい暮らしを営みたいと思います。

何にも無いだれもない丘や川や空が子供たちの手で見る見る生き物があふれ花が咲き乱れるヒビッドな世界に変化していきます。今月もどうぞ宜しくお願い致します。

11月の予定

- 3日(火) 文化の日
- 6日(金) 自由あそびの日
- 10日(火) 英語・科学あそび
- 11日(水) 和太鼓指導
- 13日(金) 親子遠足
- 14日(土) 県民の日
- 15日(日) 七五三
- 17日(火) 英語あそび
- 20日(金) 自由あそび
- 23日(月) 勤労感謝の日
- 24日(火) 科学あそび
- 30日(月) お誕生日会

●親子遠足

十三日(金)は親子遠足です。今年には群馬県太田市「ぐんまこども国」に出かけます。秋も深まり紅葉を楽しみながら、親子で友達たち同士で楽しいひとときを過ごしたいと思えます。詳細は後日お配りしますお手紙にてご確認ください。

●七五三

十一月十五日は七五三。これまでの子ども成長を祝い、三歳・五歳・七歳と成長に合わせて髪型や服装を変える儀式だったそうです。保育園では千歳あめの袋を製作し、子どもたちの健康と成長を願いたいと思えます。

〜お知らせ〜

十月二十日(火)今年度二回目の内科検診を行いました。乾燥するシーズンと共に湿疹や皮膚の赤み、ぜんそくなどの呼吸器を心配された子が数名で、ほとんどの子が健康の太鼓判を押されました。これから風邪をひきやすくなる季節を迎えます、寒さに負けず元気な思い強い体づくりを心がけたいと思います。

☆一日保育士体験☆

十月から始まった一日保育士体験、一ヶ月で数名の保護者の方が体験されました。体験後に感想を伺うと、「疲れたけど楽しかったです!」「保育士って大変な仕事ですね!」「我が子の様子が見られて安心しました。」等、前向きなご意見をたくさん頂戴いたしました。保育士体験は今年度二月まで実施します、ぜひ体験してみてください。



☆野菜☆
うめ組の子どもたちが、はつかいこんを植えました。水やりをしたり毎日頑張っていていすす大きく育ってくるといいですね!

11月の保育目標

つくし組 (0歳児)

遊び

- ・秋の自然を感じながら、戸外遊びを楽しむ。
- ・空き容器や音のなる素材などをうい、手指を使った遊びを楽しむ。
- ・指さしや喃語、一語文などで気持ちを表現しながら、保育者とのやりとりを楽しむ。

歌

『きのこ』『山の音楽家』『もみじ』他

絵本・紙芝居

『おいもさんがね』『よいしょ』他

生活指導

- ・他の子へ興味が高まり、同じおもちゃを欲しがったり、同じ場所に行きたがったりする中で、子どもの気持ちを汲み取り子ども同士のやりとりを増やしていく
- ・保育者がかける言葉の意味を理解し、行動しようとする。

手遊び

『大きなくりの木の下で』

『ワニの家族』他

たんぽぽ組 (1歳児)

遊び

- ・ごっこ遊びなどで言葉のやりとりを楽しみながら、保育者や友だちと一緒に遊ぶ。
- ・保育者や友だちと戸外遊びや散歩を楽しみながら秋の自然に触れて遊ぶ。

歌

『山の音楽家』『きくのはな』

『きのこ』他

絵本・紙芝居

『もりのおふろ屋さん』『りんごころころ』

『どんぐりとんぼろりん』他

生活指導

- ・食事の前後や排泄後の手洗いは、保育者と一緒に綺麗にするようにしていく。
- ・食事のマナーを知り、色々な食品を口によく噛んで食べる。
- ・子ども同士の関わりを見ながら、その時々に応じて必要な言葉を知らせていく。

手遊び

『おちたおちた』

『おべんとバス』他

すみれ組 (2歳児)

遊び

- ・散歩に出かけ、秋の草花や虫など自然に興味を持ち遊んでみる。
- ・秋の自然に触れたり、自然物を使って遊ぶ。

歌

『やきいもジャンケン』

『まつぼっくり』『もみじ』他

絵本・紙芝居

『おしくらまんじゅう』

『3びきのこぶた』他

生活指導

- ・手洗い、消毒をきちんと行い、感染症や風邪の予防をする。
- ・食事の際、スプーンやお皿を正しく持つ。
- ・自己主張をしながら、保育者の仲介を受け、お友だちの気持ちも考える。

手遊び

『おちたおちた』『おべんとバス』

『大きな栗の木の下で』他

もも組

ねらい

- ・友だちと一緒に遊ぶ中で、決まりやルールの大切さがわかり守ろうとする。
- ・生活に必要な言葉のやりとりを言葉の意味を理解する。

健康

- ・手洗い、うがい、鼻水の始末など自分から気付いて行う。
- ・自分の体に関心を持ち、体調の変化に気付いたり清潔に保とうとする。

人間関係

- ・友だちと喧嘩になりながらも、ルールを守り合うことに、より遊びが楽しくなることを知る。
- ・気の合う友だちを、ごっこ遊びを楽しむ。

環境・自然・数量関係

- ・戸外遊びを通して、冬の訪れを感じながら夏の自然との違いを感じる。
- ・園庭や散歩時に出会った秋の自然に見る、触れる、集める、作るなどをして遊ぶ。

言語

- ・してほしいことや、やめてほしいことを言葉で伝える。
- ・場に応じた挨拶を元気行う。

今月の読み聞かせ

『さつまのおいも』『ちよっとだけ』

表現・絵画制作

- ・お遊戯買いに向けて練習に取り組む中で歌を歌ったり楽器を鳴らすことを楽しむ。

今月の歌

『きのこ』『もみじ』他

手遊び

『なっとう』『山小屋いっけん』他

うめ組

ねらい

- ・友だちと一緒に楽しく過ごすひと時を喜び、身近な物事への関心を広げる。
- ・自分の思いやイメージを表現しながら友だちと関わって遊ぶことを楽しむ。

健康

- ・季節の変化に応じて健康に過ごすために必要な生活の仕方を身に付ける。
- ・手洗い、うがいの大切さを知り、進んで行って健康に過ごそうとする。

人間関係

- ・友だちと共通の目標をもち、みんなで協力し助け合う。
- ・遊びながらルールを守って楽しく過ごすことの大切さを知る。

環境・自然・数量関係

- ・拾った木の実や落ち葉を使い、数を数たり色や形の面白さに気付く。
- ・散歩に出かけ、風邪の冷たさや雲の様子の変化に気付く、晩秋から初冬への季節の移り変わりを感じる。

言語

- ・考えたことやイメージしたことを言葉に表しながら友達と関わって楽しく遊ぶ。
- ・生活の中で文字に興味を持ち、言葉遊びを楽しむ。

今月の読み聞かせ

『ハムとケロ』シリーズ他

表現・絵画制作

- ・お遊戯会に期待を抱きながら、友だちと一緒に音楽に合わせて踊ったり歌ったりすることを楽しむ。

今月の歌

『もみじ』『バスごっこ』他

手遊び

『ラーメン』『やきいもグーチャー』他

さくら組

ねらい

- ・友だちと共通の目標を持ち、みんなで協力しながら活動することで目標を達成し達成感を味わう。
- ・深まる秋を体感しながら、友だち同士でのびのびと遊ぶ。

健康

- ・シャツをズボンの中に入れる。汚れたら着替えるなど自分の身だしなみを意識する。
- ・手洗いの仕方を再確認したり、衣服の調節をしたりする。

人間関係

- ・競い合うことや、協力しながらゲームや遊びを楽しむ。
- ・当番の仕事などみんなで協力しながら自主的に行おうとする。

環境・自然・数量関係

- ・園庭や散歩先で木々の変化や風の冷たさを感じ、変わりゆく季節に目を向ける。
- ・生活や遊びの中で数を数えたり、量や形の違いなどに興味や関心を持つ。

言語

- ・自分の考えを伝え相手の考えも聞き、思いの違いがあることを理解し、話し合いながら遊びを進めていく。

今月の読み聞かせ

『ながぐつをはいたねこ』

『てぶくろをかいに』他

表現・絵画制作

- ・おゆうぎ会に期待を抱きながら、歌、お遊戯などの練習に取り組み、体を使って表現する楽しさを味わう。

今月の歌

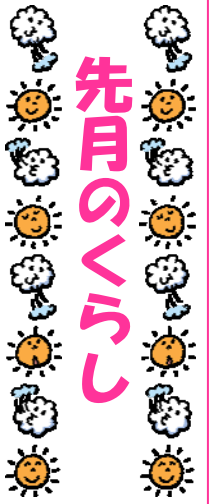
『まっかな秋』『たきび』他

手遊び

『山小屋いっけん』

『お寺のおっしょうさん』他

先月のくらし



●運動会

運動するにはもってこいの天気恵まれた十日(土)第五十九回目の運動会が行われました。この日の為に夏の暑さにも負けず練習を頑張ってきました！これまでの練習の成果を精一杯発揮する日を迎え、子どもたちもワクワクした様子でした。今年恒例の競技から新たに加わった競技まで、親子で楽しめる内容をチョイスしてみました。頭上でパラバールンが揺れる下をくぐり、りんごを拾ってゴールする『りんご採り競走』すみれ組の親子競技は、親子でどうぶつに変身しました。今年最後となるさくら組の障害物では、足の速い子が有利になる競技とは違い、子どもの力強さやバランス感覚など必要な、鉄棒の逆上がりやパカポコを取り入れました。逆上がりの練習では成功できなかった子が、本番で成功するといった奇跡が起こり会場を沸かせました。さくら組うめ組の混合チームで戦った『棒とり』お父さんお母さんがキャタピラを頑張ったのも組の親子競技。競技中も順番で並んでいる時も、笑顔で話す親子の姿が印象的でした。運動会が終わってから子どもたちに聞いてみました。「うんどうかい楽しかったですか?」「声を揃えて明るい声で答えてくれましたよ!」「たのしかったです!」大きな行事を乗り越え自信をつけた子どもたち。また一段階成長したようです。

●静御前祭り

十七日(土)～十八日(日)の二日間、JR栗橋駅周辺において静御前まつりが開催されました。駅前では静御前のパレードや様々な催し物が行われていました。栗橋保育園からは十七日(土)にさくら組が和太鼓で参加し、逞しい姿を披露してきました。年少組から始まった和太鼓。コツコツと練習を積み重ね、夏祭りや運動会など大勢の人の前で発表する経験を経て、太鼓の腕だけでなく度胸もつきました。自信もついたようで、堂々と叩く姿は観ている人たちに感動を与えてくれました。公の場で和太鼓を披露するのは、残すところおゆうぎ会の一回来。また沢山の拍手をいただけるよう期待したいと思います。



●ハロウィン

ここ数年ハロウィンが急激に浸透してきていますね。各地で仮装大会が開かれるなどイベント化しています。ハロウィンの由来は日本のお盆のようなものだそうです。子どもが仮装して「トリック オア トリート」と言ってお菓子をもらうのは、供物を差し出して悪霊を鎮めるといった意味があるそうです。保育園でも三十日(金)ハロウィンを行いました。子どもたちがマントを作って仮装したり「トリック オア トリート!」と言ってお菓子をもらった。現実から離れた空間のハロウィンパーティーを楽しみました。



●収穫祭

田植え、稲刈りとお米になるまでの一連の工程を体験したさくら組。三十日(金)は今年の豊作を祝う収穫祭で、稲刈りしたお米でおにぎり作りに挑戦しました。小さな手のひらにこぼれそうなお飯をのせて、不慣れな手つきで丸く握ろうと真剣です。少しくらい不恰好になってもそこはご愛嬌!自分たちで育てた稲のお米ですから味も格別だったことでしょう。

